

「タカ柱」上昇気流に乗って

淡路

東南アジアへの「渡り」ピーク

日本国内で生息するサシバなどのワシタカ類が、①のため東南アジア方面へと移動する秋の風物詩「タカの渡り」がピークを迎えている。通過点の淡路島上空では、上昇気流に乗って集団が旋回して高度を上げる「タカ柱」が見られた。

サシバは体長50センチ前後。日本などで繁殖する②鳥で、秋になると本州から四国、九州と南下して東南アジアへ向かう。近年は里山の荒廃などで個体数が減少し、環境省③で絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。

淡路市内では、朝から次々と上空を通過するサシバやハチクマが確認できた。10羽以上が気流に乗って上昇する姿も見られ、勢いよく滑空するといった間に見えなくなった。

(風斗雅博)

左の記事を読んで下の問いに答えましょう。

1 空欄①に入る語句を漢字2字で書きましょう。

--	--

2 空欄②には、春夏秋冬のどれが入りますか書きましょう。

	鳥
--	---

3 空欄③に入る語句を、次の中から選んで記号で書きましょう。

- ㊶ブラックリスト ㊷レッドリスト
㊸グレーリスト ㊹グリーンリスト

--

4 次の「タカ柱」を説明した文章に、本文中から適切な言葉を抜き出して入れましょう。
タカ柱とは、鷹や鷲などの群れが上昇気流に乗って上空へと昇っていく群れの様子を言う。鷹や鷲の種類の鳥は、上昇気流を捕まえて（A）しながら高く上昇し、そこから（B）しながら前へ進み、低くなるとまた上昇気流に乗って上空へと上がるという繰り返りで長い距離を飛んでいく。

A

--

B

--

NIEワークシートのこたえ（2023年9月27日公開）

◆ワークシート「タカ柱 上昇気流に乗って(生物SDGs15)」
2023.9.26付 朝刊 1面 解答

1 越冬

2 夏鳥

3 ①

4 A 旋回 B 滑空